

機械器具（12）理学診療用器具
管理医療機器 腔向け超音波診断用プローブ 40771000

特定保守管理医療機器 **経腔電子コンベックス探触子 UST-984-5**

【禁忌・禁止】

次の患者には使用しないこと

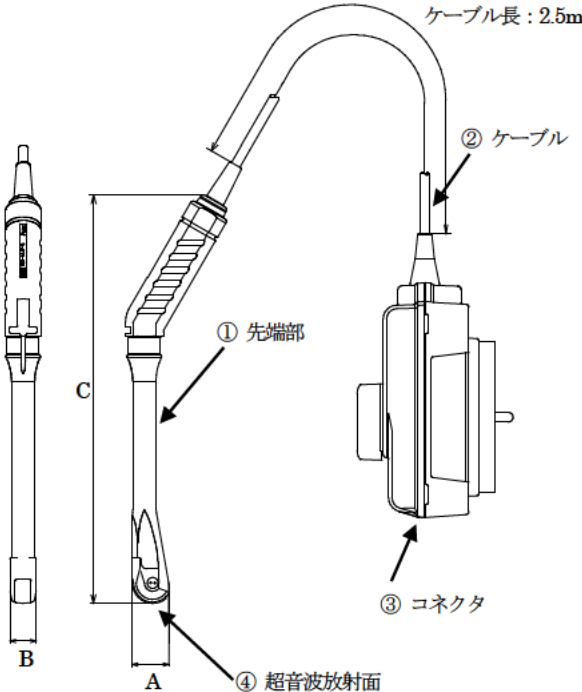
- ・天然ゴム（ラテックス）に対するアレルギーのある患者
天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショック等のアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。
このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な措置を施してください。

【形状・構造及び原理等】

- 基本構成
 - ①先端部
 - ②ケーブル
 - ③コネクタ
 - ④超音波放射面本体付属品
 - ⑤ラバーブーツ止め輪(SNP-19)付属品（収納ケース）
- 体に接触する部分の原材料
 - ・ラバーブーツ：ラテックス
- 体に接触する可能性のある部分の原材料
 - ・先端部：変性ポリフェニレンオキサイド
 - ・超音波放射面：シリコンゴム
- 外観図および寸法

A	B	C
27mm	19mm	298mm

寸法は記入数値の±10%以内



5. 動作原理

- (1) 探触子の振動子へ送信機から電気パルス信号を加えると振動子は電気振動を機械振動エネルギーに変換する働きをし、振動子に接する生体または、液体などの媒質中へのパルス状の超音波を発射する。
- (2) 発射された超音波は生体内の音響特性（音響インピーダンス）の異なる境界で反射される。
- (3) 振動子は、超音波反射波の受信にも使用される。振動子は、超音波振動によって機械的に振動し、機械電気変換作用によって電気エネルギーに変換する働きをして受信するものである。受信されたエコーは再び電気信号に変換され、電気パルスは輝度変調により明暗の輝度に変換され画像化される。

【使用目的又は効果】

超音波を用いて体内の形状、性状又は動態を可視化し、画像情報を診断のために提供する装置に使用する。

【使用方法等】

1. 使用方法
 - (1) 日常の始業点検（外観検査等を行う）
 - (2) 探触子を当該汎用超音波画像診断装置の所定の接栓座へ接続する。
 - (3) 当該汎用超音波画像診断装置の操作方法に従って適切な動作状態に調整する。
 - (4) 探触子先端に音響媒体を塗布し、ラバーブーツを装着し、ラバーブーツ止め輪で固定後、観測したい被検者の腔内に探触子を挿入する。
- (5) 穿刺適用時は、取扱説明書に従い使用前準備を行うこと。



【使用方法に関連する使用上の注意】

- ・60℃を超える高温での消毒・滅菌は行わないこと
2. 組み合わせて使用する医療機器
本探触子は、以下の超音波画像診断装置と接続して使用のこと。

販売名	*認証番号
エコーカメラ SSD-900	20900BZZ00860000
エコーカメラ SSD-1000	20900BZZ00201000
プロサウンド SSD-3500	21400BZZ00401000
プロサウンド SSD-4000	21200BZZ00300000
プロサウンド SSD-α5	21600BZZ00203000
プロサウンド α6	221AABZX00123000
プロサウンド 6	219AABZX00260000
プロサウンド α7	219AABZX00237000

取扱説明書を必ずご参照下さい。

販売名	*認証番号
超音波診断装置 F37	223AABZX00150000
超音波診断装置 F31	225AABZX00121000

** 製造販売業者：富士フイルム株式会社

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

富士フイルム株式会社

TEL:0120-771669

販売業者

富士フイルムメディカル株式会社

TEL:0570-02-7007（ナビダイヤル）

人体開口部用超音波プローブカバーは下記を使用のこと。

販売名	*認証番号
プローブカバーAに含まれる 「ラバーブーツ RB-945BP-S」	222ABBZX00003000

製造販売業者：不二ラテックス株式会社

穿刺適用時に使用する品目は下記を使用のこと。

販売名	*認証番号
穿刺ガイド管 MP-2445	222AABZX00059000

** 製造販売業者：富士フイルム株式会社

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) ラバーブーツを被せて使用すること。
- 2) ラバーブーツは再使用しないこと。

2. その他の注意

- 1) 機器に汚物が付着した場合は、取扱説明書に従い、消毒・滅菌を行うこと。
- 2) コネクタは乾燥した状態で使用すること。
- 3) 落としたりぶつけたりしないこと。
- 4) 穿刺する際には使用前に 40℃の温水にて針エコーが穿刺ガイドラインと一致することを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間：3 年（自己認証データによる）

【保守・点検に係る事項】

* 〈使用者による保守点検（日常点検）〉

1) 目視による点検

(1) 外観の確認

- プローブの外観に異常がないことを確認すること。
- ・ケーブル、付属品等に損傷や磨耗がないこと。

(2) 清浄性の確認

- 清浄な状態であることを確認すること。
- ・プローブ、付属品の洗浄・消毒方法は、取扱説明書等の指示に従って行うこと。

2) 機能の確認

(1) プローブの正常状態の確認

- プローブの正常状態・正常動作を確認すること。
- ・プローブを診断装置に接続し、正常に動作すること。
 - ・異音、異臭がないことを確認すること。

詳細は取扱説明書を参照すること。

〈業者による保守点検〉

定期点検を弊社又は弊社の指定する業者に依頼すること。

点検項目	頻度
安全点検	1 回／年

詳細は取扱説明書を参照すること。